

## 事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 10-6-1	事務事業名 図書館ホームページの運営	所管部課 教育部 図書館
-----------------	--------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的  社会の変化に対応したインターネットの特性を生かし、簡易な検索で図書館資料を探せる機能を充実させ、同時に図書館が持つ情報資源を広く的確に発信する。また、市民ニーズを踏まえ、図書館サービス全般の利用を促すことで、生涯学習支援を行う。	根拠法令等  <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	
	図書館ホームページの管理とコンテンツの作成・更新等通常の運営全般。 平成26年3月には、図書館管理システム入替によりリニューアルを予定 バナー広告収入の考え方は、広告枠数（最大8）×月数×月単価8千円となる。 図書館システム事業費のうち、WEBサーバの賃貸借料と保守費用とホームページに係るカスタマイズ費用を事業費として算出。平成25年度は予算額で計上。（10.05.03.03図書館運営管理費）	
	事業開始時期 平成14 年度 実施形態 ■ 直営 □ 委託 □ 補助 □ その他 ( )	

事業費データ	項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
	事業費(A)		2,647	2,647	2,647	3,052
	国庫支出金・都支出金	千円	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	その他（ホームページ広告掲載料収入）		0	320	152	240
	一般財源		2,647	2,327	2,495	2,812
	所要人員(B)	人	0.06	0.05	0.05	0.06
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	485	408	385	494
	臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	3,132	3,055	3,032	3,546
	単位当たりコスト(E)=(D)/(コンテンツ更新作業数)	千円	42	43	49	44

評価指標の設定	活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
	①コンテンツ更新作業数	実績値 回	74	71	62	80
	②バナー広告掲載稼働率	実績値 %	0	28.1	28.1	10.4

事業環境等	《指標の説明・数値変化の理由など》					
	コンテンツ更新作業数は、サーバへの更新回数である。通常は複数のコンテンツをまとめて更新している。25年度後半はシステム入替に伴いお知らせの更新が増える見込み。バナーは月単位での契約であり、8枠×12月=96枠の稼働率となる。					
	成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
	一 1日のトップページアクセス数	目標値 回				4,200
	次 実績値 回		3,869	3,846	4,052	
	二 1日のWeb予約申込数	目標値 件				1,670
	次 実績値 件		1,487	1,531	1,602	
	《指標の説明・数値変化の理由など》					
	トップページアクセス数は、PCとiモード版両方の合算。近年は「資料検索」「ログイン」画面をブックマークすることにより、トップページにアクセスしない利用者も増えている。予約申込数は所蔵と未所蔵両資料への申込みの合算。					

市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	検索方法や文字表記、ログイン方法などに関するご意見に対しては、3月のシステム入替により対応する予定である。その他現状の使い方については、都度ご案内することで解決するケースが多い。貸出状況の確認と予約申込みが利用の中心であるため、定期的に繰返し使いこなしている利用者が多く、現状に慣れ親しみ便利であるとの感想もある。					
都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<p>■ 上 □ 中 □ 下</p> <p>一般的なサービスレベルはクリアしている。未所蔵資料予約受付は6市（西東京・稻城・調布・東大和・日野・武蔵村山）、レファレンス受付は9市（西東京・稻城・立川・東大和・日野・府中・三鷹・武蔵野・武蔵村山）、バナー広告掲載は5市（西東京・稻城・青梅・八王子・府中）で実施中。</p>					
代替・類似サービスの有無	<p>□ 有 ■ 無</p> <p>インターネットの特性を生かし、24時間利用可能で確認だけでなく申込みができる公共図書館サービスは代替・類似はない。</p>					

事業コード 10-6-1	事務事業名 図書館ホームページの運営	所管部課 教育部 図書館
-----------------	--------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

### 【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	A) 社会の変化に対応した機能を備えたホームページにリニューアルすることは、利用者の求めるサービスを実現することに不可欠である。  コンテンツの見直しやより高度な資料検索による利便性向上は市民の学習意欲を支え豊かな生活の形成に寄与するサービスとなる。市販の図書等資料に加え、西東京市独自の貴重資料とそれら資料を活かす職員の能力も含めた西東京市図書館全体の資源を駆使したサービスは、市内外に例がなく、市が主体となって継続かつ発展させる役割がある。  B) 図書館HPサービスの相手方は、その情報の発信・提供範囲と一致するので、図書館利用登録者という縛りがない。  C) 図書館利用者からの意見は、各図書館でメール、電話、来館時に随時受け付けている。  「バナー広告」について、図書館業務中可能な範囲で業者募集の声かけを行っているが、市HPと比べて閲覧目的が限定され、かつ常連が多い図書館HPへの掲載を有意義と捉える事業者は少なく、募集中のまま埋まらないアイコンが多いことがより印象を悪くしてると考えられる。他市図書館での全2枠でも募集中のまま埋まっていない現状をみても、8枠ある西東京市のバナー広告のあり方は、縮小あるいは継続について検討する必要がある。
	事業の 必要性	2		
	事業主体の 妥当性	3		
B	直接のサービス の相手方	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	事業内容等の 適切さ	2		
	受益者負担の 適切さ	3		
C	市民ニーズの 把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

### 【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	歴史資料など、他市に誇れる資料の提供なども実施されているなど、サービス水準は26市でも上位だと評価できる。  平成26年3月には、ホームページのリニューアルにより、利便性の向上に対する一定の市民要望に応えられるようになるとのことだが、今後は費用対効果を踏まえた上で、さらに市民ニーズに応えられるシステム更新を図られたい。  また、バナー広告収入が伸び悩んでいることが課題となっているが、この点については、選定基準を見直すことも含め、利用増を図る方法を検討する必要がある。
	事業の 必要性	2		
	事業主体の 妥当性	3		
B	直接のサービス の相手方	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	事業内容等の 適切さ	2		
	受益者負担の 適切さ	3		
C	市民ニーズの 把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

### 【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、これまで市民ニーズに即し、随時の見直しを図ってきており、サービス内容としては高い水準にあると認められる。</p> <p>ホームページの運用については、今年度も市民意見を取り入れながら、改善を図ることを予定しているところであり、適切にシステム更新を行い、今後も引き続き最小の経費で最大の効果が得られるよう取組を進められたい。</p> <p>一方、バナー広告については、参入事業者が確保できず広告枠の十分な活用が図られていない現状にあることから、図書館ホームページへのバナー広告のあり方について再検証するとともに、他の自治体等における先進事例についても研究を深め、さらなる財源確保に向けた検討を進められたい。</p>